

安佐市民病院跡地への導入が考えられる施設・機能に係る各委員の意見

〔 前回の協議会までに分類・整理した 19 項目の施設・機能を基に、実現可能性等を踏まえて、各委員において跡地への導入がふさわしいと考えられる施設・機能を検討した結果を整理したもの。 〕

施設・機能 (19項目⇒12項目)		各委員の意見	施設・機能の実現に当たっての課題・検討事項等 (第4回協議会資料から抜粋)
文化・コミュニティ関連	文化ホール・図書館	<ul style="list-style-type: none"> ○ 現区民文化センターに向かう道路には坂や段差が多いため、今後、高齢化が進むにつれて、区民文化センターの利用者が減少すると考えられる。近い将来、建替えを考えなければならない時期が来るが、その際には、平地である跡地の方が良い。 ○ 多くの区民が現区民文化センターの利便性に不満を持っており、この声を無視することはできない。しかし、耐用年数を考慮すると、病院南館解体後すぐに文化センター・図書館を整備することは難しいと思われる。 ○ 現況よりも人を呼び込み、跡地周辺に賑わいを生み出すためには、現区民文化センターの耐用年数等の課題を超えた視点に立って、文化・芸能等に関する公演や市民活動を行うことができる、市北部の拠点となる施設が必要である。 ○ これまでの議論の中で、現区民文化センターの移転は、住民の要望は高いものの耐用年数等の事情から、すぐの実現は不可能である。当面は多機能的広場にコミュニティセンターを併設し、現区民文化センターの建替えの時期が来たときに、この場所へ移転する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 現区民文化センター・図書館と機能が競合する。 ○ 現区民文化センターは築33年であり、すぐに建替えが必要な状況にない。
	子供向け施設	<ul style="list-style-type: none"> ○ 複合的・一体的な導入が考えられる施設・機能の組み合わせ中で、現在、安佐北区総合福祉センター内にある常設子育てオープンスペース「スマイルあさきた」を移転して、新たに「チャイルド館」を整備することを提案する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 集客力のある文化ホール・図書館と複合化する機能として、一体的に整備することも考えられる。
	コミュニティセンター	<ul style="list-style-type: none"> ○ 将来、跡地を区民文化センターの移転候補地とすることを前提に、それまでの間は、神楽等が定期的上演できる多目的ホール、区の魅力や特色を生かす施設、区を紹介する案内所、区の地産品の展示ギャラリー、産直市場を併設することにより、市北部の拠点として、広域的なまちづくりの中心的役割が期待できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 公民館や集会所と機能が競合する。 ○ 利用が周辺地域住民に限定される。
公園・広場	<p>〔 「スポーツ広場」については、導入がふさわしいと考える意見なし。 〕</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大型遊具等を整備すれば、近隣の子どもや親子連れなどが楽しむことができる。 ○ 区民文化センターの移転が実現するまでの経過的施設として、遊具を備えた大規模な子ども広場に野外音楽ホールや神楽上演舞台、コミュニティセンターを併設した多機能的広場とすることで、近隣市町との文化交流の増進を図り、200万人広島都市圏構想の推進、北の玄関口としての賑わいの創出が期待できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「屋根付き野外ステージ」については <ul style="list-style-type: none"> ・ 北館病院に隣接し、また、住居地域であることから、イベント等の際には大きな音や振動等に配慮する必要がある。 ・ 公園・イベント広場の一機能として、一体的に整備することも考えられる。 ・ イベント等の開催時の利用に限られる。

施設・機能 (19項目⇒12項目)	各委員の意見		施設・機能の実現に当たっての課題・検討事項等 (第4回協議会資料から抜粋)
商業関連 「宿泊施設」については、導入がふさわしいと考える意見なし。	産直市場	<ul style="list-style-type: none"> ○ 都市・農村間における住民の交流や情報交換により、地域の活性化を図ることができる。 ○ 地域外から人が集まることで、賑わいの創出が期待できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 公園・イベント広場の一機能として一体的に整備することも考えられる。 ○ 単独設備に費用をかけないとするなら、仮設的な設備での運営も考えられる。 ○ 商品を安定的に供給する仕組みが必要である。
	ショッピングセンター	<ul style="list-style-type: none"> ○ 可部自治連からの提言を優先すべきであり、その中でアンケートの2位となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 近隣のスーパーと機能が競合する。 ○ 民間事業者の運営となることから、経営が成り立たない場合、撤退するリスクがある。
	レストラン	<ul style="list-style-type: none"> ○ 北館病院の患者や見舞客の昼食等の場所として、有効に利用されることが期待できる。 ○ 可部自治連からの提言を優先すべきであり、その中でアンケートの2位となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 近隣の飲食店と機能が競合する。 ○ 民間事業者の運営となることから、経営が成り立たない場合、撤退するリスクがある。 ○ 文化ホール・図書館の利便性を向上させる機能として、一体的に整備することも考えられる。
看護・医療・福祉系学校	看護系、医療技術系、福祉系の学校	<ul style="list-style-type: none"> ○ 高齢化等の進展に伴って、今後、より必要性が高くなる看護系、医療技術系の人材を育成することができる。 ○ 北館病院と連携し、効率的に学生の看護、医療技術の実習を行うことができる。 ○ 学生や教職員など学校関係者が集まることで、地域における賑わいの創出や経済効果が期待できる。 ○ 他地域からの入学も見込まれるため、若者の定住人口の増加が期待できる。 ○ 安佐北区内の医療・福祉機関への就職につながり、若者の人口流出の抑制が期待できる。 ○ 可部自治連からの提言において、アンケートで3位となっている。また、教育機関からも積極的な事業参画の意向が示されている。 ○ 教育機関が事業参画する場合は、地域の賑わいの創出のため、学内のホールやグラウンド、保育施設等の地域開放を求めたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 実現に向けては、学部新設に関わる国の認可手続きが先行する必要がある。
健康・福祉関連 「特別養護老人ホーム」、「福祉センター」、「温浴施設」については、導入がふさわしいと考える意見なし。	サービス付き高齢者向け住宅	<ul style="list-style-type: none"> ○ 急速に進む高齢化に対応するための介護・医療機能を備えた施設・機能が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 人材不足の状況下で、看護師や介護福祉士等の職員を確保する必要がある。 ○ 区内に同種の施設が17施設ある。 ○ 高齢化を背景に高いニーズは見込めるが、地域の賑わいにはつながらない。
	保育施設	<ul style="list-style-type: none"> ○ 託児場所を設けることで、子どもの院内感染を防ぎ、北館病院の患者や見舞客が安心して来院することができる。 ○ 「住みたい、住んで良かった」といえるまちにするためには、特に子育て中の若い世代を支援する施設・機能が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 近隣の保育園と施設・機能が競合する。 ○ 近隣の保育園の移転・拡充を検討する必要がある。
	総合体育施設	<ul style="list-style-type: none"> ○ 複合的・一体的な導入が考えられる施設・機能の組み合わせ中で、「健康づくりコーナー（フィットネス、トレーニング）」の整備を提案する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 近隣に安佐北区スポーツセンターがあり、機能が競合する。

※その他の施設・機能の「ヘリポート」及び「根谷川の河川氾濫対策プール」については、いずれも導入がふさわしいと考える意見なし。